The Japan Association of College English Teachers (JACET)

9月10日㈮　ワークショップ第１室（２２０）

Interactive Reading をめぐって
On *Interactive Reading*

〈教材研究委員会企画〉

司会　高橋　貞雄　（玉川大学）
発表者　三好　重仁　（東京電機大学）
平野　絹枝　（上越教育大学）
佐藤久美子　（玉川大学）

教材研究委員会は、昨年度『ＪＡＣＥＴリーディングの総合演習』／*Interactive Reading - Global Communication.* と題するリーディング教材を出版した。この教材は主として以下のような点にねらいを定めたものである。

１．基本的なスキルを教える。
２．リーディングにコミュニケーションの視点を導入する。
３．リーダビリティを量化する。
４．題材を充実させる。

教材の出版にともなって、昨年度の全国大会で「リーディング指導のあり方」と題してワークショップを行なった。発表では１５０名を越える参加者を得て、この分野における関心の高さを裏付けることができた。その際、来年度はぜひ指導法を含めた実践報告を行なってほしいという要望をいただいた。今年度４月より多くの先生方にテキストとして使っていただいていることでもあり、年度の中間発表という形で今回のワークショップを企画した。今回の発表では編集委員以外から平野氏に加わっていただき、「読解ストラテジーと読解」という観点から発表をお願いすることにした。また編集委員の側からは、三好氏は「動機づけの乏しい学習者の読みの方略を発達させる活動例」を、佐藤氏が「認知心理学の観点からのリーダビリティ」をそれぞれ発表する。

発表者は、それぞれ１５分程度の発表を行い、その後に質疑応答を持つ。教材研究委員会では今回の発表を中間総括とし、さらに年度末に教材として使用していただいた先生方にアンケートをお願いする予定である。さまざまな声を聞きながら、よりよい教授法を開発し、教材の改善ができることを願っている。

NII-Electronic Library Service